第30号
令和４年３月

北野町連だより

夢とロマンのあふれるまち

発行者
北野地区町内会連合会
会長　伊藤　昭夫

題字　木村信也氏（南北野）

北野地区町内会連合会
会長　**伊藤　昭夫**

今年は例年に無い大雪で何かと負担のかかる日常生活であったとお察し致しますが、北野地区の皆さまにおかれましてはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染も先行き不透明ではありますが、一刻も早く不自由なく、楽しい豊かな生活に戻ることを皆さまと共に祈っております。

令和４年度は北野町内会連合会創立40周年を迎えますが、ひとえに北野地区町内会、自治会皆さまの暖かいご支援、ご協力の賜物と厚く御礼を申し上げます。今後も「相互の連絡を密に協力して、北野地区の発展と明るい住みよい町づくり」に努めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。

地域の平和を考えよう

不幸にも世界で紛争が起き人々が大きな波に飲み込まれ、生活が破壊される悲劇が生じております。平和な世の中であって欲しい、これは誰しも望むことで、「平和学の父」ヨハン・ガルトゥングは「共感をもとにした協調と調和の構築が積極的平和である」と言っております。

平和の意味の考えはその人が置かれている立場によっても異なりますが、私たちは互助の精神を大切に、共に感じ合い心豊かに暮らせる日々を送りたいものです。一人一人が周りの人と気軽に話をすることが、大きな輪につながり豊かな地域社会が生まれると信じます。

喜び、楽しみは他の方から与えられます。是非近くの方々にも与えて下さい。大きく平和な北野地区、力を合わせてつくりたいものです。

「北野地区のホームページ」のQRコードです。
各行事の予定も掲載されています。

「（仮称）札幌市町内会に関する条例」に係る意見交換会が実施されました。

札幌市では、少子高齢化が進み、地域力の減衰や地域コミュニティの希薄化等が懸念されてきました。「住みよいまち・地域」の形成のためには、町内会・自治会の役割がますます重要となってきたため、平成30年から条例制定に向けた検討を始めたところ、多くの意見が寄せられました。こうした状況において地域の意見を伺いながら再検討を進めていくことが必要であることから、札幌市全区で地域との意見交換会を行うこととなりました。

北野地区では10月29日、札幌市からは山田清田区長をはじめ、区職員が出席、北野地区からは町連役員、各町内会・自治会の会長が出席され活発な意見交換が行われました。

札幌市からは条例制定に向けて検討に至った経緯、地域の「互助」と「親睦」を担う町内会の重要性や存在意義の認識の共有、将来的な加入促進、負担軽減につながる支援の必要性などの説明があり、町内会活性化支援施策として、ごみステーション管理、パートナーシップ排雪、私設街路灯の負担軽減、自主防災活動への支援充実、市職員が町内会活動に参加・協力しやすい環境づくりなどがあげられています。

北野地区からは、「なぜ条例が必要なのか」、「条例により加入率は上がるのか」、「実効性は担保されるのか」、「パートナーシップ排雪は税金にしてほしい」、「戸建て、マンション新築時に町内会加入を条件にしてはどうか」、「市職員は退職後町内会役員になることを義務付けできないか」、「民間企業の方にも担い手になれば評価される仕組みができないか検討してほしい」、「条例案に賛同する」などの様々な意見がありました。

今後は、これらの意見から検討を重ね、条例素案と支援策案を作成し市議会での審議を経て制定したいとしています。

表彰おめでとうございます

祝

・令和３年度北海道交通安全功労者表彰
北海道善行賞　斉藤　勤（東北野町内会）
北海道交通安全推進委員会会長賞
織田　光穂（北野中央自治会）
・令和３年度札幌豊平防犯協会連合会防犯功労者表彰
寺田　宏（元東北野町内会）
袖田　順市（東北野町内会）
太田　安男（東北野町内会）
・令和３年度札幌市青少年育成者表彰
中川　康（東北野町内会）
・札幌市統計功労者表彰（15年従事）
河本タカ子（北野グリーンタウン自治会）
・クリーンさっぽろ衛生推進功労者表彰
高野　實（上北野町内会）
・札幌市民生委員・児童委員永年勤続表彰
40年表彰　原田ミエ子（南北野町内会）
10年表彰　瀬戸田光枝（北野すみれ町内会）
岡本　諒（北野中央自治会）
山形和三治（北野町内会）
佐々木涼子（北野第２団地自治会）

わがまちの消防団

札幌市清田消防団北野分団　分団長　滝本　優

札幌市清田消防団は清田区誕生とともに豊平消防団より分離、本部、北野分団、平岡分団、清田分団、里塚分団の１本部、４分団が結成されました。

私達団員は**「自分たちの街は自分たちで守ろう」**を合言葉に災害のない街づくりを目指しております。

北野分団は団員27名（男性団員20名、女性団員７名）で活動しております。主な活動は春、秋の火災予防運動における火災予防街頭啓発、野火火災訓練、北野ふれあい夏まつりに火災予防の啓蒙活動、町内会の防災訓練に指導、歳末には夜間巡回パトロール等を実施しております。北野地区で災害が起きた時は、団員に現場情報が入るので直ぐに現場に出動します。また、毎年行われる清田消防団消防総合訓練大会では、平成29年、平成30年、令和元年に総合優勝３連覇と輝かしい成績を残しました。

18歳以上の健康な方を募集しております。身分は非常勤特別職の地方公務員で、活動に応じて出動報酬が支給されます。

関心をお持ちの方は、下記までご連絡下さい。

札幌市清田消防署予防課　TEL８８３－２１００

2年ぶりの成人式

清田区成人式が１月９日（日）、清田区体育館で行われました。２年ぶりです。コロナ禍の為、わずか20分だけの簡素化した式典でしたが、会場は晴れ着やスーツに身を包んだ新成人たちで華やいだ雰囲気でした。

新成人出席者は男性449人、女性408人の857名。（出席率80.3%で市内でもトップクラスです）

司会の近岡大樹さん・落合早輝さん（北野中出身）の進行により成人式が始まり清田区成人式実施委員会会長あいさつ、札幌市長からのビデオメッセージ、来賓御紹介と進行し新成人を代表して小山内昂さんと中島沙弥さん（北野中出身）が「社会に積極的に参加し、努力していくことを誓います」と誓いの言葉を述べました。

式典終了後、新成人は、記念写真コーナーで仲間や「きよっち」と一緒に写真を撮って盛り上がっていました。

盛り上げよう！　清田まで地下鉄延伸を
清田区の発展には地下鉄が不可欠

昨年、札幌市長へ地下鉄東豊線建設促進期成会による清田区への地下鉄延伸要望書を６項目にわたり要望致しました。
（2021年12月８日）

1）清田市民の切実な願い、早期に実現を
2）地下鉄延伸を盛り込んだまちづくりビジョンを
3）ドーム周辺スポーツ交流拠点の整備合わせ延伸を
4）新千歳空港、北広島方面を視野に延伸を
5）清田区には人口増のポテンシャルがある
6）公営交通は何のためにあるのか

市長はこれまで①清田区は人口が減っている②延伸しても採算性は見込めないとの返答が主でした。

今回、「採算性、今後の清田区人口増加、交流人口の増加など必要」と新たな話も市長からありました。

現在、清田区役所周辺を中心核として、多くの人が集い、楽しみのあるまちづくりを検討しておりますが、清田地区の発展と未来を見据え、地下鉄延伸に皆さまのお力を頂けるようお願い致します。

校長からの一言

元気なこと　楽しむこと

札幌市立北野中学校　校長
小川　厚志

本校生徒には生活を楽しむこと、そして元気さを維持することの大切さを伝えています。楽しいと感じることが次への意欲となり、健康であれば何事も前進と振り返りができるからです。特別な目標ではありませんが、案外簡単ではありません。

みなさん、毎日を楽しいと感じ、元気モリモリと自覚しているでしょうか。「笑顔で」とか「明るく」とか「協力して」などとよく言いますが、かけ声だけではうまくいきません。これらのことは初めから備わっている資質ではなく、発達に伴って獲得していく能力（スキル）のような気がします。そして、意欲や動機がなくてはポジティブな行動ができません。そうであるなら、楽しむ方法を考えれば良い。元気が出るようなことを創り出せば良い。わざとらしくであってもいい。そうこうしているうちに、マインドセットが最適化していく。そんな気がいたします。

本校ではこれまで、中止になった陸上記録会の代わりに学年別の体育的行事を企画したり、体育館での集会に代えて生徒会役員が放送番組を制作するなどしてきました。クロームブックを駆使して教室を結んで文化祭も行いました。このアイディアに満ちた活動の原動力が、元気で楽しむ精神だとしたらたいへん嬉しく思うと同時に大きな成長だと思います。

こうした教育活動を実践できるのは、地域の皆様の支えがあればこそです。町内のボランティア活動等は生徒の学びに大きな力となっております。北野町連の皆様には、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。

ICTを活用したオンライン授業

札幌市立北野台中学校　校長
安田　仁昭

令和３年度は、国の「GIGAスクール構想」が本格的に始まり、大きな変革の年となりました。札幌市においては市内の小・中学校全児童生徒に１人１台端末（Chromebook）が用意され、教育活動において、その活用に試行錯誤を重ねた１年でした。

現在、新型コロナウィルスのオミクロン株が猛威を振るっていますが、皮肉なことに結果的にはこのコロナ禍が端末のオンライン活用を後押ししてくれました。本校では、学級閉鎖の際はクラス全員が端末を持ち帰り、時間割を組みオンライン授業を実施しています。また、コロナ不安などの諸事情で登校が難しい場合についても、学級で行っている授業を配信し、家庭から授業に参加することができるように体制を整えています。現在は市内多数の小中学校でオンライン授業をしていますので、インターネット回線の都合上、動作が重たくなっています。常時カメラで双方を映しながらの授業は難しい状況ですが、カメラをオフにし、挙手ボタンを使って理解度を確認したり、生徒もマイクで発言・発表して、授業を進めています。今後、通信環境や通信機器の整備が進んで行けば、更に効果的なオンライン授業の推進が期待できると思います。

地域と共にある学校

市立札幌清田高等学校　校長　黒宮　裕久

昭和30年代までは厚別川の低地帯に広がる水田が見渡され、小高い丘は一面がリンゴの実る農村地帯であったこの地に、地域の皆様方の強い要望を受け札幌市が昭和50年に札幌清田高等学校を設置され、早くも47年の月日が経ちました。この間、本校は地域の皆様から愛され、様々なご支援を受けながら多くの卒業生を輩出することができましたこと、心から感謝申し上げます。

現在も８割以上の生徒が近隣の地域から通学している清田高校は、地域の皆様の教育が行き届いているおかげで、とても素直で優しい生徒が多く、安全・安心な学校生活を送っております。本校はそのような環境の中、国際的視野で見て考えて、地域で行動する「Think globally, act locally」をモットーにした国際理解教育を中核とした活動を実践しています。生徒たちは、英数国などの基礎知識の習得はもちろん、課題探究的な学習を通して地域の課題を発見し、その課題をいかにして解決するかの方策を考え、日々活動に励んでいます。

そのためには地域のご理解ご協力と、協働した活動は必須です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現状ではなかなか地域に出ての活動や地域の方を招いての活動はできませんが、これらはいずれ可能になると信じています。

清田高校は、時代は変わっても、地域の学校であることに変わりありません。今後ともご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

ルピナス

福まちだより

福祉のまち推進センター　運営委員長　平山　加代

８年振りの大雪でした、皆様お元気でしょうか。新型コロナ感染症から３月で丸２年が過ぎようとしています。３回目のワクチン接種は順調に進んでいますか？
福まちでの感染対策をしながらの事業を写真で報告させていただきます。

困りごとはお気軽にご相談下さい　毎週　月・水（13：00～16：00）TEL 885-0294

令和3年10月12日　福祉推進委員会

令和３年４月１日現在、高齢化率は清田区の中で一番高く33%。
地区委員長さん頑張ってます。

令和4年1月19日　北野地域ケア会議

関係機関の皆様方と高齢者の住み良い地域を目指します。
相談件数 ㊙

令和3年10月24日　北野健康フェア

35名の方が測定され、満悦の顔を。

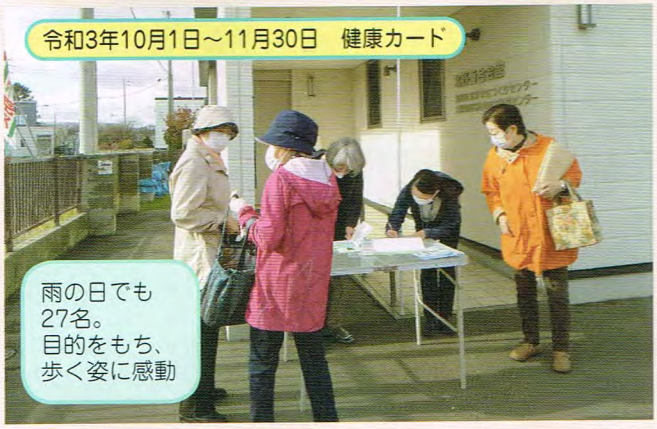
令和4年1月31日　札幌市民生委員・児童委員永年勤続表彰

区長さんより永年表彰状を。永い方で40年、立派です。福まちも民生さんに力添えをいただいています

きたのくらぶ

月一にみんなの顔に笑が。

令和3年10月1日～11月30日　健康カード

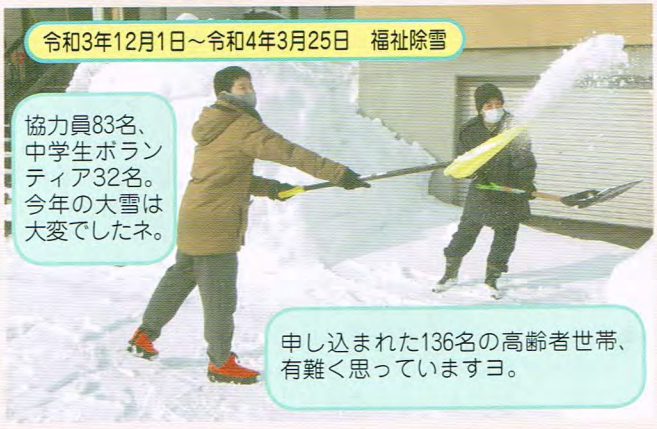


雨の日でも27名。
目的をもち、歩く姿に感動

ポムポムタイム

サンタさんのプレゼントに大喜び！

令和3年12月1日～令和4年3月25日　福祉除雪



協力員83名、中学生ボランティア32名。今年の大雪は大変でしたネ。

申し込まれた136名の高齢者世帯、有難く思っていますヨ。